

会報・第26号

2003年10月27日

発行 北陽高等学校同窓会  
 編集 同窓会広報委員会  
 印刷 株式会社アーツ



# 北陽同窓

ご挨拶

同窓の誇り 小西浩文君

会長 三木 憲三  
(昭和23年卒)



北陽同窓会会員各位にはお元気にて日々ご活躍のこととお喜び致します。又、平素から同窓会活動に対して深いご理解とご支援を頂き厚く御礼を申し上げます。今や少子化による私学経営苦難の時代に突入すると共に経済不況の長期化が更に進み、母校でも今年入学する生徒が定員を割ることになりましたが、この問題は時が進むに従って深刻化して行くことと思われます。今後母校の将来を考える時、抜本的な改革を推し進めて頂くよう学校法人並びに北陽高校当局に切にお願いするものであります。又、卒業生にとって掛替えのない母校のためには同窓会としてもその一助を果たさなければならないと思います。今日は特に私のこの挨拶欄をお借りして、深く感動を覚えた小西同窓(S55年卒)について改めて紹介する事に致します。小西君については既に会報第21号(平成10年版)と第25号(昨年版)で紹介記事を掲載致しましたが、このたびスーパークライマー小西浩文が現役最強の登山家として取り上げられ、今年6月講談社より「無酸素登頂8000メートル14座への挑戦 スーパークライマー小西浩文の愛と墓標」(著者・長尾三郎)という本が発刊されました。この著者は政治、社会、スポーツなどの分野で活躍、未知の領域に挑戦した人間の生き様を描くことをライワークとする作家で主な著書に植村直己を描いた「マッキンリーに死す」その他「エベレストに死す」等があります。私は朝日新聞の新刊紹介でこの本を知り読みましたが、この著者のあとがきで書かれていることは、自分の肉体と精神力だけでデス・ゾーンを乗り越え8000mの「神々の座」にたどり着く無酸素登頂が現代に残された登山家の極限の挑戦とすれば自分の「心臓と肺」だけで挑戦する無酸素登頂こそ、スーパークライマーの条件であると言いたい。そういう意味でわたしは小西浩文こそ現役の最強の登山家とみなし、3年ぶりに書いた登山家の物語の主人公として本書に取り上げたのである。と結ばれている。小西は1982年20歳の時、初めて8027mのシシャパンマに登頂してから一貫して酸素ボンベを使用せず無酸素で登り続けている。今までにプロードピーク(8051m)ガッシャブルムⅡ峰(8035m)チョーオユー(8201m)ダウラギリⅠ峰(8167m)ガッシャブルムⅠ峰(8068m)と日本人として最多登頂記録を果たしているが今後1座登ることに記録を更新し全14座完登に近づいて行く。しかし無酸素による高所登山の厳しさは想像を絶する

過酷なもので8000m峰の頂上あたりの気象条件は平地と比べると酸素濃度が3分の1、気温はマイナス20℃~35℃で、それに加えて秒速15m~45mの風が當時吹いている。この極限の世界では何が起こるかわからない、「死のにおい」がすると言われる地帯で酸素不足は視力減退、思考力低下、脳機能障害などをもたらし、それは死に直結している。突然襲ってくる恐ろしい雪崩の危険もある。1996年エベレスト無酸素登頂のとき7500m付近で幅100mの巨大な雪崩に遭遇したが、先を登っていたシェルバのロブサンが自らの死の直前に手袋を脱ぎ「ビー・ビー」という指笛の知らせで、すぐ付近の氷壁の出っぱりの影に身を隠し助かったのであるが、小西にとってヒマラヤの心をゆるし合ったパートナーであり、シェルバのカリスマといわれていた、ロブサン・サンプレーは雪の中から発見することができず無念さは今でも消し去ることが出来ない。そのような中で小西が言っていることは「クライマーにとって生き延びること、これが基本であり全てである。体力、技術力、精神力が超一流という事だけでは8000m超の世界14峰を登頂し生還することはできない。神に選ばれた者だけが到達できる世界だ…」と。又、「自分は死がないという絶対の自信と死んだら自分はしょせんそれまでである」とも言っている。この本の中では浩文の生き立ちにも触れ、高校は野球・サッカーの名門校である大阪の私立北陽高校に進み1年から山岳部に入り3年で主将を務めたことが紹介されている。この世界的クライマーである小西浩文君が我が北陽同窓生であることを大いに誇りたいと思う。この小西君にとって昨年最悪の事態が襲ったのである。昨年4月からヒマラヤのマナスル(8163m)に挑戦していたが悪天候で登頂が果たせず、しかも下山途中で雪崩に襲われ九死に一生を得たが一人のシェルバを亡くし、憔悴の思いで6月20日に帰国した。その小西を待ち受けていたことはクライマーとしての彼の最大の理解者であり、心の支えでもある最愛の妻、里絵さんが7月に入り動脈瘤破裂のクモ膜下出血で急に倒れ献身的な治療の甲斐もなく亡くなるという大きな衝撃にうち碎かれた。しかし今、小西はその傷心と失意から立ち直り「里絵よ、ロブサンよ、俺はやる。必ずエベレストを登る。そして地球上にある8000m峰14座の全ての頂上に俺は無酸素で登頂してみせるよ。それが俺の生きている証なのだから。天から見守ってくれよな。」妻の魂とロブサンの夢と共に命ある限り8000m峰の「神々の座」を登り続けることを誓っていた。

以上、一部文中より写実し紹介致しましたが上手くまとめることが出来ません。是非書店でお買い求め読んで頂くようお勧め致します。必ずや小西浩文君の素晴らしい勇気、超人的体力、精神力に驚嘆すると共に我が北陽同窓であることの誇りを覚えること思います。又、小西君の世界的偉業達成の為の資金の一助として別項の要領で募金を集めたく存しますので何卒ご協力を賜ります様お願い申し上げご挨拶に代えます。

母校の現況

校長 大谷 宗平



こんにちは。同窓の皆様方にはご健勝のことと存じますが、いかがお過ごしでしょうか。

日ごろは、母校へのあたたかなご支援を頂き誠に感謝しております。

この夏は、冷夏といわれましたが、やはり高校野球は熱気に溢れるものでした。本校野球部も大阪予選では素晴らしい洗練されたチームとして遺憾なくその力を発揮しました。無念にもベスト4に終わりましたが、伝統あるチームとしてその印象は強く残るものでした。多くの同窓の方々が応援に駆けつけいっぱいの声援を送っていました。在校生、保護者はじめ、同窓の方々と一緒にあの甲子園で声援を送ることのできる日のあることを願っておりましたので真に残念でした。

さて、本校の歴史も78年を迎えました。この春363名の新入生が入学し、全校生徒総数は、1,121名で今や大変なスリム化となりました。在校生が1,800人近くいた頃を思い出せば隔世の感があります。府下全体を見ても平成元年頃を100として、今春の中学校卒業生は50%ほどですからこの十数年間で半減しているわけです。正しく少子化の時代です。加えて一向に良い兆しの見えない景気の低迷は、私学志向から公立志向へと変転し、私学にとって大変厳しいものとなっています。また、現在、私学93校のうち男子校は16校になり、女子校が30校で、あと47校が共学校ということで私学も随分と様変わりしてきました。

一方、「教育改革」の名の下に府立高校では、これまでの商業、工業学校に加えて、専門学科・コー

スが沢山設けられ、一学区ごとに「総合学科」高校や普通科総合選択制高校、また、クリエイティブスクールなど実にさまざまな学校、学科、コースが設けられ、府民の多様なニーズに応えようとしています。これまでの単線型というか、横並びの教育進行であったものが、複線型となり自由に選びなさいというものです。これは教育における「自由なる選択と競争」の時代に突き進むことを意味します。

従って、今や公立私立を問わず、「特色ある学校づくり」に励めということであり、今後、高校だけではなく、幼稚園から大学にいたるまで大変な変貌が予測されます。国際的に見て、日本の強みは、平等を目指す高い水準の義務教育にあったわけで、日本人としてのアイデンティティがもてる教育の展開となっていけば幸いなのですが、教育改革という名の「解体」が場当たり的に進んでいくのではないかと一方では憂慮されるところでもあります。

本校では、13年度14年度と隔週5日制をとっていましたが、本年度より「学校六日開校制」に立ち戻りました。今春の卒業生の進路は、大学進学64.5%(短大3.3%)、専修学校10.2%、就職13.2%、その他(浪人)11.6%でしたが、「知・徳・体」の理念を踏まえつつ、本校へ入ってくる子たちの多様な希望や学力に対応していくためにも、十分時間をかけしっかりした基礎学力をつけていこうということです。職員一同日々努力しているところですのでご理解頂くとともに今後ともよろしくお願ひ致します。

最後になりましたが、皆様のご健勝を祈念します。

## ◇ 第26回代議員総会開催 ◇

4月19日代議員総会が行なわれた。母校会議室で開催され、東京支部からも小林支部長と国府島氏が出席された。三木会長挨拶のあと大谷校長から学校の現況説明があり、栗田副会長を議長に選出し同窓会活動の事業報告ならびに収支決算について検討され、代議員より、承認可決した。

14年度決算、15年度予算案は下記の通りとなった。

### ■平成14年度 同窓会決算報告

#### 収入の部

科 目	予 算	実 績	摘要
前期繰越金	14,148,646	14,148,646	
会 費	1,850,000	1,815,000	
代議員会費	200,000	180,000	
会員協力金	1,300,000	1,040,000	
会報広告収入	100,000	0	
雑収入(受取利息)	50,000	2,443	
合 計	17,648,646	17,186,089	

#### 支出の部

科 目	予 算	実 績	摘要
会 議 費	100,000	60,693	
代議員会議費	200,000	186,852	
人 件 費	350,000	348,400	
文 通 費	100,000	110,000	
消 耗 費	100,000	91,547	
通 信 費	1,350,000	1,443,178	
慶弔 費	100,000	150,000	
雑 費	10,000	11,445	
予 備 費	100,000	0	
計	2,410,000	2,402,115	
事 業 費			
会報発行費	1,100,000	735,000	
協力推進費	200,000	106,912	
事業運営費	200,000	40,289	
組織強化費	0	0	
計	1,500,000	882,201	
小 計	3,910,000	3,284,316	
次期繰越金	13,738,646	13,901,773	
合 計	17,648,646	17,186,089	

### ■平成15年度 同窓会予算

#### 収入の部

科 目	予 算	摘要
前期繰越金	13,901,773	
会 費	1,740,000	348名 @5,000
代議員会費	200,000	40名 @5,000
会員協力金	1,100,000	前年度実績
会報広告収入	0	
雑収入(受取利息他)	3,000	預金利息
合 計	16,944,773	

#### 支出の部

科 目	予 算	摘要
会 議 費	100,000	
代議員会議費	200,000	
人 件 費	390,000	
文 通 費	260,000	
消 耗 費	130,000	
通 信 費	1,500,000	
慶弔 費	100,000	
雑 費	20,000	
予 備 費	100,000	
計	2,800,000	
事 業 費		
会報発行費	1,000,000	
組織強化・協力推進費	200,000	
事業運営費	200,000	
計	1,400,000	
小 計	4,200,000	
次期繰越金	12,744,773	
合 計	16,944,773	

## ◆ 平成14年度事業報告 ◆



当期におけるわが国経済は、デフレ経済下に有り、消費が一向に伸びず、銀行の不良債権処理が遅れ、かつ、グローバル化により国内産業はますます空洞化が進み、国際競争力が低下し、各業種ごとの大型化により、スケールメリットを出すべく合併連携が進み、リストラにより国内の雇用が悪化し失業率が5%を超える水準に至りました。この余波を受け株価の日経ダウは3月に入り大台の8千円を割り込み、日本経済は長いトンネルの中に有り、八方ふさがりの状況下にあります。

当校も生徒数が減り、同窓会の大きな収入源である卒業生の会費が大幅に減り、金額にして前年比52万5千円、生徒数では105名が減少し、赤字の最大の要因になっており、これを補助すべく会員協力金の方も前年比22万円減ることになり、今後ますます少子化が進みますと、収入源の見直しをしなければ恒久的に赤字から脱却することが出来なくなり、会員協力金を増す方法を考える必要性があると思います。

当期はこの様な状況に有り、赤字を41万円計上することになりました。今後は賢明なる同窓の皆様にご理解ご協力を頂き、この窮状を脱して行きたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。



(昭和33年卒 神山興三)

## 第8回 北陽同窓会ゴルフコンペ開催

8回目を迎えた同窓会コンペは5月22日(木)に能勢カントリークラブ(6170ヤードパー72)開催。福武理事長、金沢前教頭、ゲストとして吉田義男、一枝修平、室山皓之助、大熊忠義さんら阪神タイガースOBの参加もあり総勢95名で好天に恵まれたなかそれがスタートして行く。途中行き交うコースの中で大きな声が響きわたる、同級生同志なのか、先輩、後輩と一緒に遠慮のない笑い声も出る。

競技後、倶楽部のホールで三木会長の挨拶につづき表彰式が行なわれ、吉田元監督による阪神快進撃の話、18年ぶりの優勝間違いないとの話、投打の柱 伊良部、金本の加入が大きいとの話に一同同意を示す。

ダブルベリア方式のHDCPを利用するも今回8回目を迎え初めてHDCP0のプレイヤーが誕生、6位入賞した、横内明君(昭和45年卒)OUT38 IN34 GROSS72、ほかにもグロス77、78、79と四人の人達が70台で上がって来た。

このゴルフ会は一人でも参加できますし、2~3人で申し込むこともできます。

再来年は10回目、学校創立80周年とも重なります。どうぞ同窓会室なり友人を介しての参加をお待ちしています。

(記 寺田 賢作)

### 競技成績

		GROSS	HDCP	NET
優 勝	安達 仁 (S54年卒)	80	9.6	70.4
2 位	蓮沼 宏敏 (ゲスト)	88	16.8	71.2
3 位	西岡 達郎 (S35年卒)	80	8.4	71.6
4 位	河野 忠司 (ゲスト)	97	25.2	71.8
5 位	林 尚永 (ゲスト)	85	13.2	71.8



## 北陽高校職員一覧

校長	大谷宗平
教頭	鈴木清士
校長補佐(広報部長)	米川修二

### ●学年所属の先生一覧

	1学年	2学年	3学年
主任	吉武章治	下村信博	手嶋正雄
A	宮前博行	関口裕二	岩内日出雄
B	鈴木和宏	山口はやと	竹久伸
C	村上雄一	西田末義	松村隆平
D	藤森雅隆	今井浩一	佐野正史
E	長谷川清和	加納英志	浜垣健一
F	矢田竜之	山田均	竜波和幸
G	前田時季	辻本忠	森島了俊
H	横田道正	山添修	石神賢一
I	伊藤彰祥	渡辺幹夫	佐野泰生
J		西村拓也	岩永宏光
K		樺本智之	

### 副担任

棒谷啓二	大田基弘	龜田正則	辻寛二	石坂喜一
田中章介	松岡正喜	林貞俊	吉田忠良	岩田英世
山内直行	野々村征武	松岡克己	藤川敬三	河合剛二
百済清貴	内田正人	吉谷好嗣		

### 教科主任

国語科	竜波和幸	理科	山田均	英語科	内田正人
社会科	西村拓也	保健体育科	鈴木和宏	家庭科	竹久伸
数学科	長谷川清和	芸術科	前田時季	情報科	松岡克己

生活指導係	(林)、加納、石神、辻本、辻、 村上、松村、佐野、石坂	図書視聴覚係 広報係	(浜垣)、竹久
			(米川)、山田、竜波、大田、 長谷川、河合、佐野泰、岩永
特別活動係	(龜田)、藤森、伊藤、藤川、前田	教務係	(棒谷)、西田、百済、西村
人権係	(松岡正)、今井	健康教育係	(山内)、富永、野々村、森島、山口
PTA係	(岩田)、渡辺	O A係	(山添)、松岡克、吉田
進路指導係	(田中)、櫻本、宮前、内田、 関口、岩内		

## 講師の先生方

下 村 貴太郎	宇佐美 義 輝	河 崎 清 美	鶴 河 龍 司	池 辺 健 一
荒 木 秀 夫	中 辻 隆 司	長 谷 川 孝 次	石 井 基 博	野 田 志 郎
森 下 隆 裕	木 村 知 津 子	橋 本 清	正 本 一 夫	草 野 節 男
小 坂 一 昇	利 部 麻 衣 子	山 本 明 人	加 川 敏 清	佐 藤 満
吉 兼 雄 司	中 村 沙 織	ロバーツ 香 織	木 の 蠹 求	寺 居 史 郎
阪 本 守	松 浦 正 子	長 谷 川 由 美 子	澤 田 真 由 美	

## ●2003年(平成15年)度 顧問

運動クラブ	顧問	文化クラブ	顧問
柔道	林・松岡正	写 真	下 村・岩 内
剣道	佐野泰・棒 谷	新 聞	吉 武・藤 森
水 泳	石 坂・山 田	美 術	前 田・加 納
卓 球	伊 藤・内 田	史 跡 研 究	田 中・辻
バ レ ー ボ ー ル	横 田・百 済	フ ォ ー ク ソ ン グ	関 口・吉 田
バ ス ケ ッ ボ ー ル	河 合・大 田	鉄 道 研 究	渡 辺・浜 垣
テ ニ ス	石 神・森 島	映 画 研 究	竜 波・岩 田
ハ ン ド ボ ー ル	鈴 木 和・西 村	ジ ャ ズ バ ン ド	手 鳴・吉 谷
サ ッ カ ー	藤 川・矢 田	放 送	松岡克・長 谷 川
陸 上 競 技	米 川・松 村	文 芸	今 井・西 田
硬 式 野 球	新 納・宮 前・辻 本	将 棋	竹 久・鈴 木 清
軟 式 野 球	山 内・岩 永	釣 り	佐 野 正・龜 田
空 手 道	村 上・櫻 本	グ リ ー ク ラ ブ	山 口・山 添

## 教職員の動静

■15年3月末で退職された先生方 依藤 定利 先生

桑田 英雄 先生

倉石 文昭 先生

## ■平成15年度入試大学合格者人数

平成15年3月10日現在

☆国公立

大学名	推薦入試		一般入試		類別合計	一番難易度	二番難易度	三番難易度	四番難易度
	文理	英語	文理	英語					
☆高 知					0	0	0	1	1
☆大阪市立					0	0	0	1	1
☆金 沢					1	0	1	1	0
同 志 社					5	0	5	5	1
関 西 学 院					0	0	0	7	7
関 西 立 命 館			1	2	2	0	5	5	9
龍 谷		1			0	0	0	5	3
近 織	1	4	1		1	6	1	7	20
京都産業	2	1	5	5	2	13	2	15	37
甲 南	1				1	0	1	7	5
大阪工業					0	0	0	5	2
桃山学院	1	1	1	2	1	5	1	6	14
神戸学院	8	2	4		1	14	1	15	20
大阪経済	12	1	1	1		1	15	1	16
関西外国語		1	2		3	0	3	6	9
仏 教		1			1	0	1	1	3
摂 南	3	2	4	1		10	0	10	14
追 手 門	7		8		1	15	1	16	32
英 知		2			2	0	2	1	1
大阪学院	12		4			16	0	16	34
大阪経済法科	9				9	0	9	3	3
大阪芸術	1	1			2	0	2	3	7
大阪国際	10				1	10	1	11	3
大阪産業	1	29	5	1	5	2	1	41	3
大阪商業	4		3			7	0	7	26
大阪体育	2					2	0	2	1
大阪電気通信	6	1			2	7	4	11	8
大阪人間科学	2					2	0	2	2
大阪成蹊	3					3	0	3	0
大 谷		1				1	0	1	2
大 手 前	14	1	3	2		20	0	20	28
東 大 阪		1				1	0	1	0
関西福祉科学	1					1	0	1	0
京都学園	13		1			14	0	14	12
近畿福 祉	2					2	0	2	2
甲 子 園	2					2	0	2	3
神戸芸術工科	1					1	0	1	0
神 戸 国 際	8				1	8	1	9	7
相 愛	1	5				6	0	6	4
宝塚造形芸術	1	2				3	0	3	6
帝 塚 山	2				1	2	1	3	12
天 理	1				1	1	2	0	1
奈 良 産 業	1					1	0	1	2
花 園	1					1	0	1	0
阪 南	17		1		1	18	1	19	24
姫 路 獨 協					3	1	0	4	2
大 成 学 院						0	0	0	0
高 野 山						0	0	0	1
流 通 科 学					3	0	3	3	2
札 幌			1			1	0	1	0
合 计	3	173	16	19	47	10	0	0	445
						268	37	305	502

短期大学名	合格者人数		合計
	文理	英語	
大阪青山短			1
大阪産業短	1	1	2
大阪成蹊短	1		1
大阪工業短			1
大阪電通短			3
関西外語短	2	1	4
近畿短			0
成安造形短			0
大阪芸術短	1		1
産業技術短			0
京都嵯峨短	1		1
京都外国语短			1
近畿職能開発短	1		1
大阪音楽短			0
大阪職能開発短			0
合 計	1	5	15

## 平成14年母校進路状況

## 卒業生 363 名(10クラス)

	14年度	13年度	12年度
四年制大学	223名(61.4%)	56.8%	62.6%
短期大学	12名(3.3%)	3.2%	2.9%
専門学校	39名(10.7%)	13.0%	11.3%
就 職	50名(13.8%)	13.0%	13.2%
未 定	39名(10.7%)	14.0%	10.0%

※就職は自営、公務員を含む。未定は浪人を含む。

# 同窓の近況

## 十五期生ありがとう

昨年総会及び同期会のありかたにつき、皆様にご相談申し上げたところ、役員一任となりました。役員もそれぞれ健康に優れず、今後の同期会の存続が難しいと考え解散に踏みきりました。同期会解散及び最終役員会を平成15年6月27日に開催これを承認しました。

50年間続いた同期会ではありました、区切りをつけると同時に会費剰余金27万円は母校80周年記念事業として学校へ寄贈させていただきました。

第15期生 幹事 岩崎 悅治

## 北陽S二六同期会

### 「来たときよりも健やかに」をテーマに懇親会開催

近々 同期会の通知があるだろうと思う折りも折、来信あり開ける間ももどかしく中をみればまさしく会の開催通知。

六月二十九日(日)午前十一時、会場は大阪市福島区ホテル阪神三階パーティールーム。当日は数日来の雨もビタリと止み朝から快晴の一日、天の配剤に厚く感謝した次第。

今回は数年ぶりに恩師木村先生(クラス担任・元校長)をお迎えし、開会前に校歌、物故者への黙祷は恒例どおり、続いて先生のテーブルスピーチに始まり、吉田S二六会々長の挨拶、そして永年に亘り運輸業界において貢献され、大阪府知事表彰、近畿運輸局長表彰、運輸大臣表彰を受け、今尚業界において指導的役割を果たしている福島嘉雄君に乾杯の音頭を取ってもらい、宴の幕は切って落とされた。久しぶりに会う顔の日々が自己紹介し、懐かしさや思い出を木村先生に語りかけ、その一人一人に先生が懐かしげにうなづかれ、時が経つにつれ皆も昔の悪戯鬼坊主の表情、流石に年齢を重ねると、かくも変るものかと思う程皆が物静かに先生に語りかけ、時に笑いを誘う語り口はさすが堂に入ったもの、まことに嬉しい一刻であった。端正な居すまい、白髪は争えないまでも髪型やお顔は昔のままの先生、昔も今もあり変わぬ、僅かに変わったのは頭のテッペンのみ、吉田会長。紳士の代表とは斯くばかり、福島嘉雄君、よくよく見ればみな個性派、掛けて年季を感じさせぬよき老青年である事を今回特に感じさせてくれた。加えて今回のテーマは「来たときよりも健やかに」天然温泉に浸り、サウナに入り心身ともに爽やかに、飲みかつ語る宴半ば得意の「のど」も聞かせてくれる仲間の日々、特に今回は山口恵司君が

絵画の数々を展示しこの男にこの才能が、と目を見張った次第、彼のアーチストぶりに脱帽!

今回二六会の特筆すべきは、遠来(東京)より毎回参加の畠孝男君、さすがに元級長、皆に自らの範を垂れる皆勤賞(?)

病中病後、はたまた闘病中の仲間に、健常者に負けていない古川貞雄君、病中死の瀬を彷徨い、死んだ親父に夢枕で「おまえがここに来るのはまだショット早い、帰って仕事せい」と言わされて一段と気力を振り絞って病魔と戦い数度の大手術、長期のリハビリに耐え、退院後現在も通院しつつ家業の陣頭指揮の真っ最中、バリバリの現役復帰である。喜ばしいのは古川君のみならず岡田勉君、元々野球選手で鍛え、社会人になっても筋骨隆々斗酒尚辞せずの人であったが、病には勝てず数年前にダウント、それからの闘病生活は苦難の連続であったようだ。そんな中電話で26会の仲間と近況のやりとりの中に一念発起、更なる闘病生活を経て、最近は以前に増して元気を取り戻し、今回も一人早朝より自宅を出発し、同期会に出席してくれた次第である。時は過ぎ宴果て、恩師をホテル玄関にお見送りし、渝しくそして明日よりさらに充実した道を進むべく確かめ合い、再会を約し別れたのであります。

吾が北陽の後輩諸君、どちらを向いても不況風の吹き荒れる中、老いの一徹更なる活路をと日々頑張っています。老兵に負けず猛虎のごとく、奮迅の働きをして北陽健兒の意氣高らかに、健康に留意して頑張っていただきたいと切に願うものであります。

北陽高S二六同期会 岡本 得三 記

北陽高S二六同期会  
S26同期会(会員会)



# 同窓の近況

## 「アマチュアゴルフ界の雄」 内田二三男君(昭和23年卒)を悼む

若い頃からゴルフに打ち込み、その強さは早くからアマチュアゴルフ界に知られていた。晩年更に円熟味が加わり、関西はいうに及ばず日本アマチュアの試合で優勝、準優勝等を重ね日本の代表選手として世界アマチュアゴルフ選手権にも出場した。昨年5月持病の肝臓癌の治療中に拘わらず、関西グランドシニア選手権に出場、驚異の優勝を遂げた。その秋11月身体の不調を押して、ジャパングランドシニア選手権に出場、第一日目は不屈の意志でトップに立ったが、二日目は体力の限界を超え崩れ去った。

その1ヶ月後の肺腫22日壮絶なゴルフ人生を終えた。私も葬儀委員長として最後を見送った。惜しまれてならない。 合掌

三木 恵三 記

### 公式戦 主な戦績

1974年	関西ゴルフオープン	セカンド・アマチュア
1990年	日本シニア選手権	準優勝
1991年	世界アマチュアゴルフ選手権	団体 準優勝
1995年	関西ミツドアマチュア選手権	優勝
1996年	関西ミツドアマチュア選手権	優勝
1996年	日本ミツドアマチュア選手権	優勝
2002年	関西グランドシニア選手権	優勝
2002年	日本グランドシニア選手権	出場

## 「22年目の甲子園」

厳しい残暑も終わり朝晩肌寒い季節になりました。

政治不安、経済の停滞など歓迎出来ないニュースが多い中、関西では阪神タイガース優勝で景気回復を望み、同窓会員の皆様は如何お過ごでしょうか。

卒業しても野球部OB、また同窓会員の多くの方々に色々と、声を掛けいただき、とても嬉しく感謝しております。

さて、私は、昨年の84回高校野球選手権大会より審判委員とし、40歳で22年振りに甲子園に立つことが出来ました。22年前は、マネージャーとして春夏甲子園に出場しました。(共に1回戦負け) 審判経歴は卒業5年後に、野球部松岡監督より大阪高校野球連盟審判をしないかと話をいただき高校野球に携われるので喜んで引き受けました。その後、28歳に大阪野球連盟(社会人野球)に移り現在も所属しています、この連盟の推薦を受け甲子園のレギュラー審判委員になりました。社会人野球の審判で大きな舞台に立たせて頂きましたが、甲子園舞台は観衆5万5千人の超満員の観衆の中、一球一球の全力プレーに対し正確な判定をしないといけないので異様な緊張感がでるところです。

デビュー戦は、青森山田 対 開星の試合、三星審判でした、大きなミスはなかったのですが、緊張して思うように動けませんでした。二試合目からは、緊張はしつつも、かなり雰囲気にもなれ青春をかけてプレーしている選手に「甲子園はいい所だ」と思ってもらい、最高のプレーが出来るように判定をしましたが、先輩からのアドバイスは、緊張の原因は“間違えたジャッジをしたら恥ずかしい”という自己中心

的なものであり、緊張感がプレッシャーになりミスをする。

しかし「高校生のため一生懸命判定をしよう」という気持ちが持てるようになり緊張感が集中力に変われば素晴らしい判定が出来る、と教えて頂きました。この緊張感が集中力になるよう、その後の試合から努力しています。

この夏の感想は、先輩審判委員の母校が3チーム出場しました。開会式当日選手入場時、何とも言えないまなざしで母校の入場行進を見ていました。また、3チームとも一回戦を勝ち、アルプス席に行き校歌を歌ったと嬉しそうに言っておられたのが印象に残っています。私も一日も早く、同じ事が起こるように楽しみにしています。新納監督、辻本コーチのもと野球部員全員で甲子園出場に向けてがんばっています、同窓会員の皆さんも熱い声援をおくって下さい。

また、現在、企業存続の厳しい条件の中、関東、東海、関西と社会人野球で多くの野球部OBが活躍しています、高校野球とまた違った野球が見られると思います。こちらも応援お願いします。

最後に、今年の春の大会で引退された先輩審判員の言葉で審判は正しい判定をすること、その正しい判定が試合のドラマを作り、ファンを酔わせる、こんな素晴らしい役割を与えられたことは【審判冥利】と言うべきで、また反面大きな責任でもあることを考えて欲しいと言わされました。これから何年甲子園で審判ができるかわかりませんが、先輩方の言葉を胸に感動を与えてくれる高校生に感謝しながら、ガンバッテいきます。

S56年卒 池 友久

「硬式野球部OBゴルフ部会・OB野球部会」

昨秋、第1回硬式野球部OBゴルフ部会を西脇市のウエストワーズゴルフ倶楽部で開催しました。前監督松岡氏・元中日ドラゴンズ井上氏・阪神タイガースコーチ岡田氏を始め48名のOB諸氏が多忙な中、参加頂きました。ゴルフのプレーは親睦の中にも負けず魂を發揮したプレー等先輩後輩の垣根を越えた楽しいゴルフでした。ゴルフ終了後の親睦会では、松岡前監督の各OBの高校時代のエピソード、井上氏のドラゴンズ時代の星野監督の性格の話や岡田氏からは現在の北陽野球部への激励の言葉を頂き終りました。

平成14年12月1日(日曜日)に第8回硬式野球部OB野球部会を北陽第2グランドで開催しました。新納監督・辻本コーチを始め大学、社会人の現役野球部員をはじめ32名の参加者で今年度卒業の野球部員と親睦試合を行いました。試合終了後の親睦バーベキュー大会では、OB諸氏から卒業生への叱咤激励。新納監督からOB諸氏への決意表明で無事終了しました。硬式野球部OB会では今後も上記2部会を中心にOB諸氏の親睦をはかり硬式野球部を側面から応援していきたい。

852年卒 丘木 加之

ご協力のお礼

平素は同窓会発展にご協力賜りましてありがとうございます。 協力金推進委員会  
前回発行しました会報に掲載させていただきました以降にご協力いただきました方々の氏名を掲載いたします。  
今後共よろしくお願い申し上げます。

### 銀行口座振込者

井根村路田水 梶坂田中浜宮 武直子 喬浩之  
昭治洋行男三 则俊 成芳憲 康康  
上林田海本木 尾小竜東西三  
尾小竜東西三 勉二夫美一哲利 啓昭克太英定  
田村岡西本永藤 園木武寺西松依  
田合梨田田島田 布幸彦作夫晃健  
彰浩昌賢和正 幸三明治夫郎己  
岡川高寺西松吉 生神尾(西川)正生三郎 异弘  
福神城津西堀山 盛興末眞昭三勝  
嶺山島田川川崎 島田修一(厚木) 隆  
福神城津西堀山 吉弘清豊昭雄明  
栗嘉佐塚中福村 文敏 博嘉正

郵便振込者

雄二三男一司 一行治夫男勇茂裕昌男弘生郎勇郎己秀  
三二耕(久慶和榮正道)中要祐一幸早三櫻平登勝忠  
見上田田嶽川本中田木口井川木村本田川浦木所崎永  
伊井内岡梶北木小沢鉢田寺中梨西橋藤麗松三向山義  
久平男布昭美一彦実介強功一允繁一義充樹三雄保藏  
友孝紀彰智克洋敏陽 一善 賢重宰直憲孝  
上(福)田野 村玉本井山岡上山畠 川岡吉木野口谷  
池井上岡小北木兒坂眞高茶仲中西計藤堺又三宮山吉  
夫正一朗夫守男修司廣明次二夫司一夫仁光爾之夫一  
俊嘉吉敏辰 孝 浩一(地)英繁正誠容敏幹泰啓康忠健  
木 田前倉本村池根原(北野)井村田田嶋川元浦永 山  
荒乾上大小川木小栄下高丹島中西延福細井三宮覽横  
仁一三三道雄樹大昇輝亮一介志勇博夫勝義行雄介祐  
昭 健正一直武 浩 章祥広 長佳 和弘武俊喜  
達村田(田中船庵下折瀬村内村田田井野壁市崎田栄  
安福上大奥川貴穂坂柴高田豊中西野平星真見宮柳柳  
央幸也豊明幸久夫勇三雄信善博行男志晴三一博史彦  
宗盛貴 正浩良信 芳隆義元路高明忠敏省 敏(明勝)  
立嶺川櫻川合下田藤 木中川野尾口野井田山宅則田  
足福上大小川木黒斎芝高田利水西野桶朴前丸三康山  
坂東崎谷本田戸(久林津部中本谷間本口川田本川宮下  
相伊岩大岡勝木島小塙漸田寺中繩西桶古前松南安山  
相石入姥岡嘉北釣小三鉢竹寺長椿西桶札堀松水睦山渡  
太郎一充次隆弘孝幸文男治之郎一次悟治男一豊治一稔芳  
耕隆稳作守敏崇常浩英善智彌慶忠 健治清 良淳雅万  
生川江浦部勢島宮西野木川田崎本村口場口村岡月喜辺

● 小西浩文君の偉業達成への  
協力募金のお願い

無酸素登頂8000メートル14座へ挑戦中の小西同窓の為の資金をカンパします。何卒、同封払込取扱票にて募金協力下さいます様、お願い申しあげます。次の登頂は来春3月中旬予定です。

02 大阪		払込取扱票												通常払込料金 加入者負担	
		印贈呈日	百	十	千	万	千	百	十	千	百	十	千	百	十
00990-2-		9	4	6	5	8									
		北陽高等学校同窓会 年度協力募金													
		<small>ご協力いただけます基金の□にチェックしてください。 (2.の場合口数と金額をご記入下さい。) 両方ご協力いただけます場合は、合計金額を必ずご記入ください。</small>													
		<small>1. □ 平成15年度協力募金 6,000円 2. □ 登山家・小西浩文(昭和55年卒)氏 ( ) 円 協力募金(1口 1,000円)※出来るだけ多くのご協力いただけますようお願いいたします。</small>													
		<small>新規登録 ( ) ご連絡用 お問い合わせ お問い合わせ お問い合わせ</small>													
		<small>新規登録 ( ) ご連絡用 お問い合わせ お問い合わせ お問い合わせ</small>													
		<small>新規登録 ( ) ご連絡用 お問い合わせ お問い合わせ お問い合わせ</small>													

## 事務局便り

今年四月から週二回（火・金）学校内の同窓会事務所に出ていますが、同窓会宛の電話や訪問してくださる同窓生も少なくありません。同級生の消息とか名簿をほしいといった要望もあるものの、名簿を悪用し有料通話の請求とか、物品購入依頼のダイレクトメール、電話での勧誘もあります。面倒でもはっきりと拒絶の意志表示をし断る姿勢で対応するとともに、こんな時代ですので自己責任で対処されることをお願いいたします。

S35年卒 塩田

## 編集後記

梅雨あけ宣言もなく冷夏だった今年も9月にはやっと夏らしい天候が少しあったものの早やばやと秋の訪れを迎え、会報発行の季節となりました。

見開きのページには現在勤務の先生方、別枠でクラブ活動担当顧問、先生方のお名前を併記いたしました。OBの皆様にはご存知おりの先生方が少なくなられたなあ～とか、あの先生はお元気でご活躍されているんだといった感慨もあろうかと存じます。

本年三月で卒業生も30,585人と三万名を超みました。時代とともに学校運営も変化をしてまいります。これからも同窓会へのご支援のほどお願い申し上げます。

塩田

## 不明者調査ご協力のお願い

### ■同封の不明者一覧には

宛先不明、移転先不明等のため戻った方(町名、番地変更の戻りを含む)

### ■事務局では、一人でも多くの同窓生の正しい住所を掲載するために、住所調べを行っております。

しかしながら、現在も住所のつかめていない方がまだまだおられます。

一覧の中に、ご存じの知人(同級生)やご家族の方がおられましたら、同封の「住所不明者連絡ハガキ」にて現住所をお知らせ下さい。

「住所不明者連絡ハガキ」の紹介面を直接FAXしていただいて結構です。)

なにとぞご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

尚、会員番号は必ずご記入下さい。

※情報を頂いた方でまだ記載されている方は、現在確認中です。

## 北陽高等学校同窓会事務局

FAX (06) 6328-5964(代)

TEL (06) 6327-2747